

14

森林のはたらきを知ろう ～マイ箸を作ろう～

しもときだ
玉城町立下外城田小学校



森林の話聞く



年輪の数を数えている



カッターナイフで角材を削り、箸を作る

ねらい

- ・ 森の働きを知る
- ・ マイ箸作りを通して、木に親しむ

取組内容

1時間目は、森のせんせいから森林の働きや木についての話を聞きました。森林は生き物のすみかになったり、二酸化炭素を吸収して空気をきれいにしたりしていることを学びました。また、実際木材や年輪の様子を観察しながら、季節や森林の環境によって木の成長にちがいができることも教わりました。さらに、数種類の木の枝や葉っぱを観察し、クイズをして楽しみました。

2時間目は、スギの角材をカッターナイフで削り、マイ箸を作りました。慣れないカッターナイフで木を削る作業でしたが、慎重に進めました。箸の表面にヤスリをかけ、アマニ油をぬると木目がはっきり浮かび上がりました。子どもたちはできあがったマイ箸を手にして、木の箸の質感や美しい木目にうっとりして、とても満足気でした。その日の給食では、さっそく自分の箸で嬉しそうに食べる子どもの姿も見られました。

内容	・ 森の話 ・ マイ箸作り
時間	2 時間
場所	5 年生教室
対象	5 年生 25 人
講師	森のせんせい：いせしま森林組合
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した町事業「森林環境教育支援業務」

【先生のコメント】 森林の働きを知り、それを守り管理していく大切さに気づくことができました。実際に箸を作り、使ってみて、子どもたちは生活の中で様々に使われている木の良さを再認識したようでした。